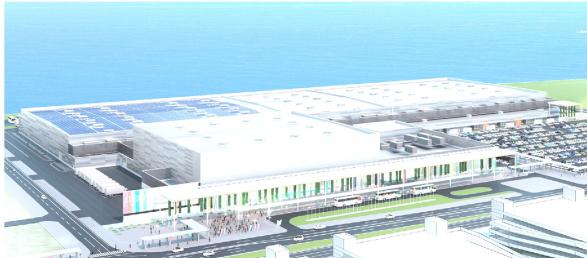


振興環境委員会2  
しもおく議員

## 国際展示場「膨大な無駄遣い、運営権設定に問題」



2月議会に、国際展示場の建設費予算と民間事業者に運営権を設定同意、さらにその周辺の国際観光都市建設調査費が提案されています。しもおく議員は、振興環境常任委員会でこれらに反対する立場から質問しました。

まず、「建設費や用地費で総額約700億円の膨大事業、その財源は明らかになっているのか。また、民間事業者に15年間の運営権を渡し、その対価（県への納付金）は県が最低提案価格と公表していた8.82億円、異常に少額ではないか」と質しました。県は、「県の有料道路コンセッションの対価の一部（150億円）の活用は国の回答がまだない。県企業庁から購入する用地費も未定。総事業費を示せないが、県債と一般財源で全額を貯い、国費の投入はない。民間事業者が県に収める経営権対価は、経営が軌道に乗る6年目から10年間の稼働率25%の想定利益から計算した適正な額」と言い切りました。

しもおく議員は、「この運営方式は、すでに世界では問題ある施策として米・仏・独では水道事業などで再公

### 太陽光 発電

**質問** 「海上の森」の無許可伐採を教訓に県の「指導基準」を追加したことは評価。その後の指導件数を明示すること。東浦町緒川地区、瀬戸市上半田川地区では地域住民から批判が出ている。環境首都あいちと正反対の行為。もっと厳しい規制が必要。

**答弁** 基準策定後、9件あり、基準を満たすよう指導している。周辺住民への説明会の開催、協定書の締結など指導している。国とも連携して指導していく。

### リニア 談合問題

**質問** 総工費9兆円の巨額事業。うち3兆円は国の資金、公共的事業だ。不正入札で価格競争が歪められ、結果、工事費が嵩み、運賃に跳ね返り、国民がツケを払うことになる。発注者のJR東海も問題だ。談合疑惑の全容が解明されるまで工事中止を求めよ。

**回答** リニアは本県の経済・社会に大きな波及効果をもたらす重要な社会基盤。整備法は「地元自治体はひとつような措置を講ずる」としている。平成39年度の開業を求めていく。

営化している。県民に厄災を及ぼしかねない」と指摘しました。

### 「国際観光都市」の中身はカジノ ギャンブルのリスクを直視せよ

しもおく議員は、「県が研究し推進する「国際観光都市」中身は、カジノ事業がIRの中核事業。IRは、カジノ部門があり、次にホテル部門があり、それからMICEの会議場部門、魅力発信部門という構成になる。カジノは、豪華な部屋で、高額な掛け金が動くゲームが夜を徹して繰り返される。入場回数や入場料の制限案が取沙汰されているが依存症を防ぐことは難しい。「厳しい規制」といってもいざ実施されれば、際限なく緩和されていく。大村知事も、カジノがあってもよい、むしろ誘致すると名乗りを上げているのは問題」と指摘しました。

県は、「IR法は、民間活力を生かした国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し、地域経済に寄与、国の監視・管理の下で運営される健全なカジノ施設の収益が社会に還元されることを基本にしている。MICEについては、本県としても、日本一の産業集積と優れた交通基盤を生かし、「国際観光都市」を目指すとの答弁を繰り返しました。

最後にしもおく議員は、「需要がなく、将来の世代にツケを回す浪費型大型開発は直ちに中止し、県予算を暮らし・福祉・教育、若者支援、中小企業・農林漁業に回す県政への転換を要求する」と質疑を終えました。

### コミュニティ バス

**質問** これまでずっと県独自の財政支援を求めてきたが、県は「市町村の事業」と答えている。高齢者の運転が社会問題化、県警は運転免許の自主返納を推進。東三河では交通不便地の高校生など通学にも必要。

**答弁** 社会全体で高齢者の生活を支えることは国を挙げての検討課題。費用負担も含め市町村の事業。

**要望** リニアや滑走路ではなく、地域の足の確保を。

### 名古屋空港 軍事拠点化

**質問** 三菱小牧南工場で組立てたF35の試験飛行が行われている。トラブル発生で緊急着陸の事態が起こっている。米国防省は276項目の欠陥を特定した。米軍のF35などの整備拠点に指定される問題もある。春日井市など周辺自治体から「米軍機の利用を止める」要望書が出ている。「整備拠点に反対し、軍事拠点化しない」と県民に宣言を求める。

**回答** ブラブル情報は市町村に速やかに提供。公共の飛行場はコミュニタ航空など、そして航空機産業の拠点として空港運営に取り組む。